

保証書

このたびは、セコニック露出計をお買い上げいただきまして有難く厚く御礼申し上げます。

この製品は弊社が心をこめて皆様にお届け申し上げたものでございますが、使用説明書にもとづく通常のご使用状態において、万一保証期間内に故障が生じた場合には、本保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または最寄りの弊社サービスセンターにご持参くだされば、保証期間内に限り無料で修理・調整させていただきます。

| | | | | | |
|------------------|-------|------|---|---|--|
| 露出計機種 | L-308 | N o. | | | |
| お買い上げ日 | | 年 | 月 | 日 | |
| 保証期間 | | 年 | 月 | 日 | |
| (お買い上げ日より1ヶ年間です) | | | | | |



株式会社



〒178 東京都練馬区大泉学園町7-24-14 TEL 03 (3978) 2330

ご住所

ご氏名

露出計営業：〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 新杉ビル
TEL 03-3269-7245 FAX 03-3269-0580

大阪営業所：〒541 大阪府中央区本町 2-3-6 本町ビジネスビル
TEL 06-263-1571 FAX 06-261-2072

名古屋営業所：〒460 名古屋市中区栄 5-8-14 万国ビル
TEL 052-251-6201 FAX 052-251-6227

東京サービスセンター：〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町 3-8 新杉ビル
TEL 03-3269-7243 FAX 03-3269-0580

販売店名

キリトリ

SEKONIC

EXPOSURE METER

FLASHMATE

L-308

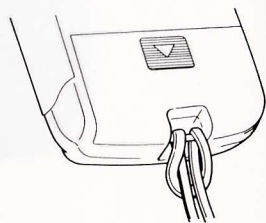
使用説明書



保証書付

お買い上げありがとうございます。ご使用前にこの説明書を必ずお読みいただきこのL-308の性能を十分ご活用ください。この説明書は保証書を兼ねていますので、大切に保管してください。

1. 各部の名称



目次

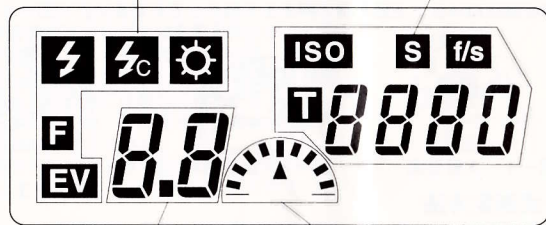
| | |
|---------------------|----|
| 1. 各部の名称 | 2 |
| 2. 液晶表示 | 3 |
| 3. モード選定一覧 | 4 |
| 4. 測定の準備 | 5 |
| (1) 電池をいれます | 5 |
| (2) 測定モードのセット | 5 |
| (3) フィルム感度(ISO)のセット | 6 |
| (4) シャッター速度(T)のセット | 6 |
| 5. 定常光の測定 | 7 |
| 6. フラッシュ光・コードレス測定 | 8 |
| 7. フラッシュ光・コード接続測定 | 9 |
| 8. 取扱い上のご注意 | 10 |
| 9. 仕様 | 11 |
| 10. アフターサービスについて | 12 |

2. 液晶表示

モード切り換えキーの操作により

- 1) コードレス測定
 - 2) コード接続測定
 - 3) 定常光測定
- が表示されます。また、定常光測定モードでは **EV** または **F** が表示されます。

- 1) アップ・ダウンキーの操作によりタイムが表示されます。
 - ・ **T** が表示されているときはシャッター速度が表示されず。
 - ・ **S** は秒
 - ・ **1/s** はシネコマ数
 - (**1/s** は定常光測定モードのみ表示)
- 2) ISOキーの操作により **ISO** が表示され、設定フィルム感度が表示されます。



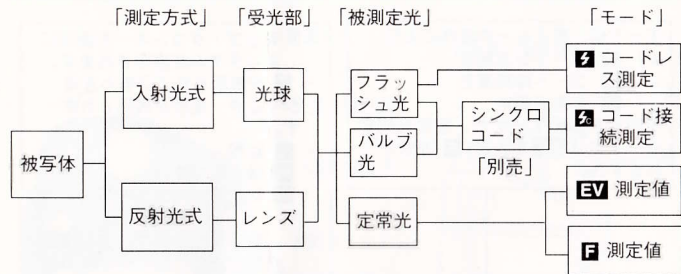
- 1) 電源キーをONしたとき b、c の文字が表示されます。
- 2) 測定F値の整数項が表示されます。
- 3) 測定EV値の整数項が表示されます。
- 4) 測定及び表示範囲外るとき E.u (アンダー)、E.o (オーバー) が表示されます。

- 1) 電源キーをONしたときに電池容量の表示がされます。

(~)
- 2) 測定F値、EV値の小数項が表示されます。

((0.1) ~ (0.9)

3. モード選定一覧



入射光式と反射光式の測定切り換え方法

光球はスライドさせ a、b それぞれのクリック位置で止めて下さい。(図-1)
(図-2)

* 光球の移動はローレット部を指で押さえて動かしてください。(図-3)

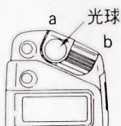


図-1 入射光式



図-2 反射光式

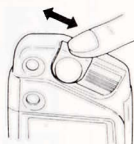


図-3

入射光式測定方法

被写体位置で光球をカメラのレンズに向けて測定します。
(図-4)



図-4

反射光式測定方法

- カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。(図-5)
- カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。
- 部分測定するときは、できるだけ被写体の主要部に近づいて測定してください。
- * 露出計等の影が測定部分に入らないように注意してください。



図-5

4. 測定の準備

(1) 電池をいれます。

単3乾電池(LR-6またはR-6) 1.5V 1本を使用します。

- 電池ふたを矢印の方向にひいてはずします。(図-6)
- 電池の十一を電池ケース内の表示に合わせて一側を先に入れ一側に指で押すようにして挿入します。
- 電池ふたを本体に合わせスライドして閉めます。確実にかみ合ったことを確認してください。
- 電源キーを押してONすると液晶表示部に b、c 文字と電池容量を表わすドットが表示され(図-7)、その後、測定モードに切り換わります。

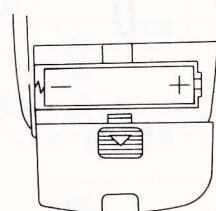


図-6

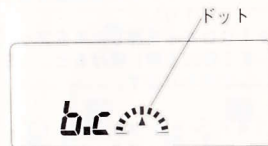
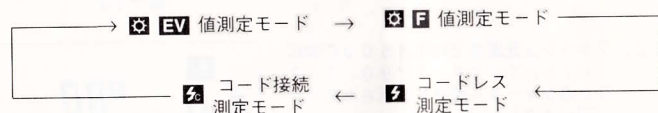


図-7

- * 電池容量が不足すると液晶表示部の b、c 文字が点滅、または表示がされません。
- * ONの状態では放置しますとオートOFF機能が働き約4分後に自動的に表示がきえます。
- * オートOFF後、再使用するときは、電源キーをONしてください。
- * 設定されたモード及び設定値は、電源OFF又はオートOFF後もメモリーされています。
- * Ni-cd蓄電池、リチウム電池は使用できません。

(2) 測定モードのセット

- モード切り換えキーを押すことによりロータリー式にモードが変わります。



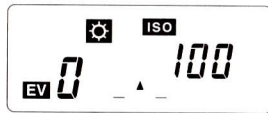


図-8

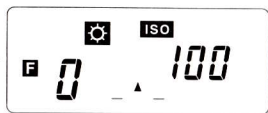


図-9

* 定常光モードでISOキーを押したままモード切り換えキーを押すとEV値表示とF値表示の切り換えができます。(図-8、図-9)

(3) フィルム感度 (ISO) のセット

1. ISOキーを押したままアップ・ダウンキーでフィルム感度をあわせませす。(図-10)

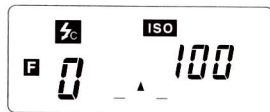


図-10

* ISOキーを押したままアップ・ダウンキーを1秒以上押し続けると、ISO数値が連続して変わります。

(4) シャッター速度 (T) のセット

1. アップ・ダウンキーで設定したいシャッター速度にあわせませす。(図-11)

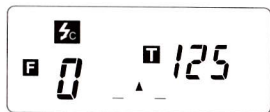


図-11

2. シネコマ数は1/8000の次に表示されます。(定常光測定するとき)(図-12)

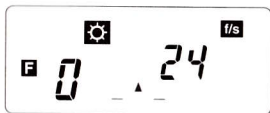


図-12

3. フラッシュ光測定では1/500の次に1/75、1/80、1/90、1/100のシャッター速度が表示されます。(図-13)



図-13

1. モード切り換えキーを押して、 定常光測定モードに切り換えてください。

2. フィルム感度とシャッター速度をセットしてください。

3. 測光スイッチを押すと測定値が表示されます。



図-14

* 定常光モードでは測光スイッチがON状態では連続測光しています。

* 測定後、ISOおよびT (タイム) の変換により測定値の演算が自動的に行われます。

* EV値⇔F値の切換え

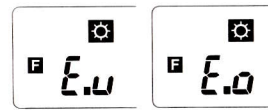
ISOキーを押したままモード切り換えスイッチを押すとEV値⇔F値の表示が交互に変わります。(図-14、図-15)



図-15

* 液晶表示部のドットはF値間を1/10分割した値です。例えば、図-15はF2.0 + 3/10絞りを表わしています。

* 測定範囲を外れた場合は、E.u (アンダーエラー)、E.o (オーバーエラー) が表示されます。



6. フラッシュ光・コードレス測定

シンクロコードを使用しないで測定する場合

1. モード切り換えキーを押して **[F]** コードレス測定モードに切り換えてください。
2. フィルム感度とシャッター速度をセットしてください。
3. 測光スイッチを押すと、**[F]**マークが点滅し測定待機状態になります。
4. フラッシュ光を受光するとF値が表示されます。(図-16)

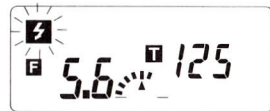


図-16

*一度測定した後も **[F]** マークは点滅をつづけて待機状態にあり、再度フラッシュ光を受光すればF値は更新されます。

* **[F]** マークの点滅は約90秒間継続されます。

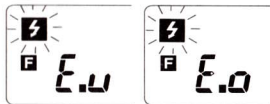
* **[F]** マークが点滅していないと測定はできません。

* コードレスでフラッシュを発光させても露出計が光を感知しないときは、「コード接続測定」にしてください。(周囲光に比べてフラッシュ光がはるかに小さい場合は感知しないことがあります。)

* 測定後にシャッター速度を変換すると測定値は消え、F値は0になります。

* ラビット型蛍光灯や特殊な照明下では、フラッシュを発光しないのに動作することがあります。このようなときは、コード接続測定モードにしてシンクロコードを接続し、測定してください。

* 測定範囲を外れた場合は、E.u (アンダーエラー)、E.o (オーバーエラー) が表示されます。



7. フラッシュ光・コード接続測定

シンクロコードを使用して測定する場合

1. 本体表面のモード切り換えキーを押して、**[C]** コード接続モードに切り換えてください。
2. フィルム感度とシャッター速度をセットしてください。(図-17)

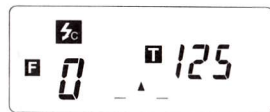


図-17

3. フラッシュと露出計のシンクロターミナルとをシンクロコードで接続してください。(図-18)



図-18

4. 測光スイッチを押すとフラッシュが発光しF値が表示されます。(図-19)

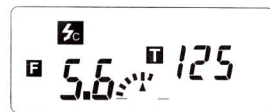


図-19

5. 再度測定するときは、そのまま測光スイッチを押してください。新しいF値が表示されます。

* フラッシュバルブを発光させて測定するときは同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。

* シンクロターミナルにシンクロコードを接続するとき、また電源キーをON-OFFするときにはフラッシュによっては発光する場合があります。

* シャッター速度を設定するときはカメラの同調範囲をあらかじめ確認してください。測定後にタイム変換するとF値は0になります。

* フラッシュによっては発光しないことがあります。この場合は「コードレス測定」をしてください。

☆ シンクロコード (**[C]** コード接続測定のと
きに使用します。)別売

長さ5mのコードは3つのプラグを持ち、露出計とフラッシュ、カメラとフラッシュを同調させることができるので、撮影をするときにもコードを差し換える必要がなく、大変便利です。また露出計側の接続端子はロック機構がついているので確実に接続することができます。(図-20)



フラッシュ カメラ

図-20

8. 取扱い上のご注意

お買い上げいただいたSEKONIC FLASHMATE L-308は多くの電子部品で構成された精密電子機器ですので、下記の点にご注意ください。

1. 落下または衝撃は絶対にさけてください。
2. 高温、多湿な場所には保管しないでください。
3. 光球、レンズ面にはホコリ・ゴミ・傷がつかないようにしてください。また、常に、清潔に保つようにしてください。
4. 本体が汚れたときは、乾いた柔らかい布やシリコンクロスでふいてください。シンナー、ベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
5. 余分な電池の消耗を避けるため、使用時以外は、できるだけ電源をOFFしてください。
6. 正常な動作をしない場合は、電池をとりだし約10秒以上経過してから入れ直してください。
7. 長い間、使用しないときは電池を抜いておいてください。

万一、故障がおきたときは、最寄りの営業所またはサービスセンターにお持ちください。お近くに、営業所またはサービスセンターがなく輸送される場合には厚さ3cm以上の衝撃よけパッキングに包んでから、ダンボールなどで梱包してください。

9. 仕様

測定・測定方式

- 入射光式、反射光式兼用
- 定常光、フラッシュ光用デジタル露出計

測定範囲 (ISO100)

- 定常光、EV1~19 $\frac{1}{2}$ (19.9)
- フラッシュ光 F2~90 $\frac{1}{2}$ (F90+0.9絞り)

くり返し精度

- ±0.1EV以内
- 入射光・・・光球
- 反射光・・・レンズ(受光角40°)

受光素子

- シリコンフォトダイオード

校正定数

- C=340 K=12.5

表示範囲

- ISO (フィルム感度) 3~8000 (1/3S V単位)

- T (シャッター速度) 定常光・・・60秒~1/8000秒 (1TV単位)

- f/S (シネコマ数)・・・8、12、16、18、24、25、30、32、64、128 (開角度180°)

- フラッシュ光・・・1秒~1/500秒 (1TV単位)他に1/75、1/80、1/90、1/100

- F (絞り) 0.5~90 $\frac{1}{2}$

- EV (露出値) -4~26 $\frac{1}{2}$

- F、EVの小数項 $\frac{1}{2}$ (0.1) ~ $\frac{1}{2}$ (0.9)

その他の表示

- 測定範囲 E.u (アンダー) E.o (オーバー)

- 測定モード  F EV

- バッテリーチェック、b.c $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{2}$

使用電池

- 単3乾電池 (R-6、LR-6) 1.5V 1本

使用温度範囲

- 0℃~40℃

保存温度範囲

- 20℃~60℃

標準付属品

- ストラップ、ソフトケース、乾電池1本

大きさ・重さ

- 110 x 63 x 22mm

- 約80g (電池を除く)

*この仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

10 アフターサービスについて

*弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●無料保証期間などについて

1. 無料保証期間はお買上げ日より1ヶ年間でございます。
2. 保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

●補修用性能部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能な場合もありますのでサービスセンターにお問合わせください。
2. 修理可能期間はご使用の状態や環境、お手入の状態によって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえお買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては修理不可能となる場合があります。

●修理ご依頼時における留意事項

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部位点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+) (-)の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

●転居の場合の手続きについて

1. 転居で販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

●お問合わせ先について

本製品の保証、修理、使い方などのお問合わせは、最寄りのサービスセンターをご利用ください。

本製品の故障が原因で生じたフィルムの損失、様々な出費、迷惑ないし不都合、精神的な損害、その他すべては、補償致しません。

[保証規定]

つぎのような場合には保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 誤ったご使用またはお取扱い上の不注意により生じた故障、または損傷など
2. 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障、または損傷など
3. 弊社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解掃除などによる故障、または損傷
4. 火災、地震、水害、公害、指定外の使用電池（電圧）およびその他の天災地変や落下、衝撃などによる故障または損傷
5. 保証書のご提示がない場合
6. 保証書にお買上げ日、保証期間、販売店名などの記載の不備な場合あるいは字句を書換えられた場合
7. ご使用後の内・外表面のキズ、部品や付属品の紛失による修復交換、電池などの消耗品類の品切れや交換
8. 各部点検、精密検査、分解掃除等を特別にご依頼された場合
9. 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失など）については保証いたしかねます。
10. お買上げ店または弊社サービスセンターにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。またお買上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法などによって、（間便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。

*ご注意

1. 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示について、ご不明の点は弊社サービスセンターにお問合わせください。
3. 保証書をお受取りの際は、販売店名および購入年月日などが記入されているかどうかをご確認ください。万一記入もれがありました場合には、ただちにお買上げ店へお申し出ください。
4. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保存してください。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

[アフターサービスについて]

1. 部品の保有期間など、アフターサービスに関する事項につきましては取扱説明書に詳しく記載いたしておりますので、ぜひご覧ください。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 保証期間経過後の修理などについてのお問合わせは弊社サービスセンターをご利用ください。